

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2017年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ウォーミングアップについて

① ウォーミングアップは、下記の通り係員の指示によって行なう。

(ア) 本競技場においては次の通りとする。

| | 開門時間 | 練習時間 |
|-----|-------|-------------|
| 第1日 | 7時30分 | 7時40分～9時30分 |
| 第2日 | 7時30分 | 7時40分～9時30分 |
| 第3日 | 7時30分 | 7時40分～9時00分 |

(イ) 北陸上競技場においては次の通りとする。

| | 開門時間 | 練習時間 |
|-----|-------|--------------|
| 第1日 | 7時30分 | 7時40分～17時00分 |
| 第2日 | 7時30分 | 7時40分～17時00分 |
| 第3日 | 7時30分 | 7時40分～15時00分 |

○使用場所・器具については次の通りとする。

- ・トラック（スターティングブロック・ハードル）及び、走幅跳ピット・走高跳ピットとする。
- ・トラックの使用レーンは次の通りとする。
 - 1・2レーン……………中長距離
 - 3～6レーン……………短距離
 - 7・8レーン……………ハードル

※北陸上競技場の利用については、IDカードもしくはナンバーカードを提示すること。

(ウ) 投てき練習は、砲丸投のみ下記の時間に限り練習を可とする。

- 6月15日（木）・・・本競技場 14時00分～15時00分
- 6月16日（金）・・・北陸上競技場 13時00分～14時30分
- 6月17日（土）・・・北陸上競技場 13時00分～14時30分

(エ) 2階雨天練習場の使用については次の通りとする。

- フロート・ダッシュ等は中央のレーンを北から南（100mのスタートからゴール）へ向かって走ること。
- ウォーク・ジョグ等は両サイドのレーンのできるだけ端を使用すること。

(オ) 多目的広場については使用しても良いが、投てき練習は一切を禁止する。

(カ) 天候にかかわらず、地下駐車場（レクリエーション広場地下）での練習は禁止する。

※ いずれの練習場所においても、安全に留意し、事故を起さないようくれぐれも注意しておこなうこと。

特に、第4コーナーと直走路の交わるあたり、および雨天練習場での練習は十分に気をつけること。

3 招集について

- ① 招集所はメインスタンド下1階の選手ホールに設ける。（100mスタート付近）
- ② 招集は本人が行ない、完了時刻に遅れた者は棄権したものとして処理する。
- ③ 招集時間は次の通りとする。

| | | 招集開始 | 招集完了 |
|---------|----------------|--|-----------|
| トラックの部 | | 競技開始 20分前 | 競技開始 10分前 |
| フィールドの部 | 棒高跳 | 〃 70分前 | 〃 60分前 |
| | 走高跳 走幅跳・三段跳 | 〃 40分前 | 〃 30分前 |
| | 投てき | 〃 50分前 | 〃 40分前 |
| 混成競技 | | 第1日目・2日目とも第1種目は招集所で招集を受けること。 第1種目がトラック種目の場合は20分前から10分前、跳躍種目の場合は40分前から30分前とする。 それ以降は現地で招集を受けること。 (女子200m・800m、男子400m・1500mの腰ナンバーカードは現地で配布する。また、最終種目は別ナンバーカード使用する。) | |

- ④ 各種目とも競技者の集合が完了したら、係員の誘導で直ちに入場するのでその場を離れないこと。
- ⑤ 招集所から各競技場所へ移動する時は係員の指示に従い、高校生競技者としての自覚をもち、規律ある行動をとること。

4 競技について

- ① 各県の総監督・男女監督以外はグラウンド内への出入りを禁止する。
- ② スタート合図はイングリッシュ・コマンドで行う。
- ③ トラック競技は全て写真判定装置を使用し、1/100秒で計時する。同一組同記録の場合は可能な限り写真を拡大して着差を判定する。着差がない場合には抽選により決定する。
- ④ トラック種目予選の800mまでのプラス上げは、各組3着の同着を優先する。但し、準決勝進出者が14名に満たない場合は4着の内から上位記録者を準決勝に進出させる。
- ⑤ 予選におけるトラック競技の走路順、並びに跳躍・投擲競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- ⑥ 短距離種目では安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- ⑦ スパイクのピンはトラック・フィールドともに9mm以下を使用すること。ただし、走り高跳び・やり投げは12mm以下のものを使用すること。
- ⑧ 4×100mRの第2・3・4走者は主催者が用意するマーカーを使用することとするが、各自で用意したテープを使用してもよい。(大きさは50mm×400mm以内とする)ただし、マークは1カ所のみとする。
- ⑨ 4×400mRは3組2着+2で行ない、プラス2は各組3・4着のうち上位2チームとする。ただし、同記録の場合、写真判定で着差があれば着順を決定する。着差がない場合には代表者の抽選によりプラスのチームを決定する。
また、違う組の中で3着と4着が同タイムの場合は、3着のチームを優先する。
- ⑩ リレーのオーダー用紙は、予選については招集完了時刻1時間前までに1部を競技者係へ提出すること。また、準決・決勝については招集開始時刻までに提出する。
- ⑪ 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。(但し、天候などの状況により変更する場合もある)

| | | 練習 | 競技開始 | | | | | |
|------|----|-------------------------|------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 走高跳 | 男子 | 1 m70・90 | 1 m80 | 1 m85 | 1 m90 | 1 m95 | 1 m98 | 以降3cm |
| | 女子 | 1 m45・55 | 1 m50 | 1 m55 | 1 m58 | 1 m61 | 1 m64 | |
| 棒高跳 | 男子 | 3 m90 4 m30 4 m60 | 4 m00 | 4 m20 | 4 m30 | 4 m40 | 4 m50 | 以降10cm |
| | 女子 | 2 m40 2 m90 3 m40 | 2 m60 | 2 m70 | 2 m80 | 2 m90 | 3 m00 | 以降10cm |
| 混成競技 | 男子 | 1 m40・65 | 1 m45～80までは5cm刻み | | | | | 以降3cm |
| | 女子 | 1 m20・45 | 1 m25～45までは5cm刻み | | | | | 以降3cm |

- ⑫ 第1位か第6位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- ⑬ フィールド競技の計測ラインはもうけない。全ての有効試技を計測する。
- ⑭ 競技者は、競技区域内での助力は禁止とするが、コーチエリアからの助言については、競技運営ならびに他の競技の妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、競技者は、ビデオ・カセットレコーダー・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑮ 抗議は、日本陸上競技連盟競技規則第146条にもとづき、各県監督が所定の手続きをとること。

5 ナンバーカードについて

- ① ナンバーカードは、胸・背部に縫い付けること。(安全ピンを使用してもよい)
跳躍競技はどちらか一方でもよい
- ②トラック競技出場者は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与するので、ランニングパンツの左右やや後方に数字が明確に読めるようにつけること。

6 競技用具について

- ① 用具は主催者が用意した物を使用する。但し、棒高跳び用ポールおよび、やりは持参した物を検査を受けて使用することができる。
- ② 検査は競技開始1時間30分前から招集開始時刻までに南側器具庫前で行ない、その場で借り上げて競技に使用する。(棒高跳びは現地で行なう。)なお、返却は競技終了後、検査した場所でおこなう。

7 商標名等のついた物品について。

競技者は競技場内・練習場内に規定にあったもの以外は持ちこんではならない。
I.A.A.F 憲章第18条及び付則を遵守すること。

8 開始式について

第1日目の9時30分より行なう。参加者は各県陸協専務理事(理事長)・各県高体連陸上競技専門部委員長と、前年度男・女総合優勝校の代表者とする。

9 競技方法について

- ① 学校対抗とする。なお県対抗を兼ねる。
- ② 種目別得点は、1位6点・2位5点……6位1点とする。
- ③ 男女別合計得点によって学校順位を決定する。同点の場合は、上位入賞者数によって順位を決定する。

10 表彰について

- ① 学校対抗男女別優勝校には優勝旗を、1～6位までには賞状を授与する。
- ② トラック競技の部1～3位、フィールド競技の部1～3位には賞状を授与する。
- ③ 個人種目別優勝者にはメダルを、1～6位までには賞状を授与する。
- ④ 決勝終了後、入賞者は表彰室で待機し、役員の指示を受けること。なお、東海高校記録樹立のときには、部旗を掲揚してその栄誉を讃えるので、成績発表後直ちに本部へ持参すること。

11 その他

- ① 各校の部旗・のぼり・横断幕などはバックスタンド最上段の手すりのみとして、必ず紐で止めること。
(ガムテープ・テーピング等は絶対に使用しないこと。また、必ず毎日取り外すこと。)
- ② 大会運営に支障をきたすような集団での応援(フィールド競技のトライアル時など)は禁止する。
- ③ 男女の更衣室を使用してもよいが、貴重品の管理は各自責任を持って行なうこと。また更衣室のロッカーを使用してもよいが、カギは必ず毎日返却をすること。(更衣室内にシートを敷いたり、荷物を置いたままにしないこと。)
- ④ 各校の待機場所は、各県で決められた場所及びスタンドを使用すること。

(正面階段下のスペースおよび地下駐車場を学校の待機場所として絶対に使用しないこと。)

- ⑤ 競技中に発生した傷害や疾病については、医務室で応急処置を行なうが、以後の責任は負わない。
- ⑥ 各校で出したゴミは、責任をもって持ち帰ること。
- ⑦ 競技終了後ただちにボランティアによる清掃活動に入るので、ミーティング等は競技場の外で行なうこと。
- ⑧ 100m ゴールスタンド下に医務室を設け、医者とトレーナーが常駐するので利用してください。
(テーピングを希望する場合は、テープを持参してください。)
- ⑨ 選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。

※ 観客席からの撮影制限について

- 観客席での撮影禁止エリア
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳の助走後方・着地前方
 - ・走高跳マットに向かった正面 (クリアランス動作中)
- 保護者および本人の了解がない撮影を禁止する。
- 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動の撮影は禁止する。
- 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡を取らせていただきます。